

もとぶ議会だより



ハイサイ

第116号

平成31年1月4日
発行

豊年祭



平成30年9月23日、瀬底区にて豊年祭が行われました。(綱引きの様子)

主な誌面紹介

平成30年9月定例会

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ●平成30年9月定例会審議案件一覧……………2 | ●研修会……………12 |
| ●一般質問一覧……………3 | ●編集後記……………12 |
| ●一般質問(8名)……………4-11 | |

平成
30年

第4回本部町議会9月定例会審議案件一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第8号	平成29年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	平成30年9月28日	報告
報告第9号	平成29年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	平成30年9月28日	報告
報告第10号	平成29年度決算に基づく資金不足比率の報告について	平成30年9月28日	報告
報告第11号	平成29年度本部町教育委員会事務点検・評価報告について	平成30年9月28日	報告
議案第27号	工事請負契約の締結について (上本部小中一貫校校舎改築工事〈建築1工区〉)	平成30年10月4日	原案可決
議案第28号	工事請負契約の締結について (上本部小中一貫校校舎改築工事〈建築2工区〉)	平成30年10月4日	原案可決
議案第29号	工事請負契約の締結について (上本部小中一貫校校舎改築工事〈建築3工区〉)	平成30年10月4日	原案可決
議案第30号	工事請負契約の締結について (上本部小中一貫校校舎改築工事〈電気〉)	平成30年10月4日	原案可決
議案第31号	工事請負契約の締結について (上本部小中一貫校校舎改築工事〈機械〉)	平成30年10月4日	原案可決
議案第32号	平成30年度本部町一般会計補正予算について	平成30年10月4日	原案可決
議案第33号	平成30年度本部町国民健康保険特別会計補正予算について	平成30年10月4日	原案可決
議案第34号	平成30年度本部町後期高齢者医療特別会計補正予算について	平成30年10月4日	原案可決
議案第35号	平成30年度本部町公共下水道特別会計補正予算について	平成30年10月4日	原案可決
議案第36号	平成30年度本部町公共事業会計補正予算について	平成30年10月4日	原案可決
報告第5号	決算審査特別委員会委員長報告書	平成30年10月4日	報告
議案第37号	平成29年度本部町一般会計歳入歳出決算認定について	平成30年10月4日	認定
議案第38号	平成29年度本部町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	平成30年10月4日	認定
議案第39号	平成29年度本部町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	平成30年10月4日	認定
議案第40号	平成29年度本部町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	平成30年10月4日	認定
議案第41号	平成29年度本部町水道事業会計決算認定について	平成30年10月4日	認定
陳情第4号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について	平成30年10月4日	採択
陳情第5号	県産品の優先使用について	平成30年10月4日	採択
決議第4号	議員派遣の件	平成30年10月4日	原案可決
報告第2号	総務文教常任委員会調査中間報告	平成30年3月16日	報告
報告第3号	産業建設常任委員会調査中間報告	平成30年3月16日	報告
陳情第1号	高速船就航における本部町の寄港地について	平成30年3月16日	産業建設常任委員会に付託
意見書第1号	北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める意見書	平成30年3月16日	原案可決
決議第1号	本部町花いっぱい運動に関する宣言決議	平成30年3月16日	原案可決

平成30年 9月定例会一般質問

質問順	質問者	質問事項
1	仲宗根 須磨子	1. 八重岳桜の森公園の身障者用のトイレについて 2. 中央公民館・図書館建替えに伴う問題について
2	真部 卓也	1. 町道整備・駐車場整備について
3	小橋川 健	1. 町内における民泊について 2. 旧荷捌き施設の跡地利用について
4	崎浜 秀昭	1. 健堅一周道路の完成はいつ頃か 2. 浜崎地区海岸保全地域の防風林の整備について 3. 健堅区に第二町営団地の建設計画はないか
5	具志堅 勉	1. 満名川氾濫の解決策は 2. 辺名地・谷茶線、辺名地・渡久地線と谷茶大通りの木の伐採について 3. 中央公民館建替えの説明会の意義とは 4. 防災無線の音響調整は可能か
6	喜納 政樹	1. 学校施設の安全性の確保について 2. 所信表明について
7	具志堅 正英	1. 本部町立図書館について
8	伊良波 勤	1. 日本一心豊かな我が町づくりについて 2. 農業用水について 3. カツオ漁について 4. 本町の移民について

※議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、各議員が会議録に基づいて要約したものを掲載しております。

1.八重岳桜の森公園の身障者用のトイレ

2.中央公民館・図書館の建替えに伴う問題



一般質問

仲宗根 須磨子 議員

町長 おはようございます。答弁をする前に一言だけご挨拶を申し上げます。私以下、各課長含めまして爽やかな気持ちで、そして心豊かな議論が展開できればと思っておりますので、どうか議員各位の皆さんよろしくお願いたします。桜の森公園には管理棟、管理棟前駐車場、ステージ手前の三ヶ所、さらに山頂の一ヶ所、大型バス駐車場に一ヶ所、計五ヶ所のトイレが設置されております。その全てにおいて身障者用のトイレが完備されており、身障者トイレに限らず、修理やリフォームが必要なきには、随時その対応を行って

いるところでございます。仲宗根議員 この課題を取り上げたのは、他市町村の方から「本部の桜の森公園の大型バス駐車場の身障者用のトイレがひどい」という電話をいただいたからです。さっそく見に行ったところ、台風二十四号が去った直後であり、ひどい状態でした。「あの便座に身障者の方を座らせるのは心が痛い」という指摘の通り便座の表面の色が変色していて、掃除をしても落ちるものではないという事がわかりました。今朝も見て来ましたが、ちょうど係りの人が清掃をしているところでした。きれいにされていましたが便座が上げられていました。そうすると表側の状態が見えないのでそれが他市町村から指摘されるまで気づか

なかった原因なのかなと思いました。その便座の取替えは早急にやってほしいと思います。他にも身障者用トイレに限らず、戸がまったく閉まらない状態のところ、ドアノブが故障しているところが何ヶ所もありました。日本一早い桜まつりを銘打って、たくさん観光客も来ます。せっかく桜に感動しても、トイレの状態がひどいと本部町の印象を悪くしてしまうと思うので、早急な対応を望みます。そしてもうひとつ、もつとトイレを可愛くしたらどうかと思います。例えば扉に桜の花びらの模様を描くとか、シールを張るとか。トイレ内も殺風景なので、小中学生から募集した絵を飾るとか、その絵をもとにした、絵画みたいなものを描くとか。気持ちよく過ご

せるような空間にしたら、もつと楽しい、いい思い出のまま観光客も帰られるんじゃないかと思えます。**教育長** おはようございます。仲宗根須磨子議員の中央公民館・図書館の建替えに伴う問題について私の方から説明いたします。五月十七日開催した住民説明会では、特に新施設の資料室に対して、面積増加や読み聞かせコーナーの設置の要望が多くありました。それらの計画変更に対して、内閣府と七月十二日に協議をいたしました。町からは、資料室は教育旅行民泊や観光客等の学習の場としてだけでなく、地域住民が本施設を訪れやすくすることで、自然に観光客と地域住民が交流する機会を増加させ、将来の観光業の担

手育成や地域全体としてのおもてなしの体制づくりに貢献ができる。よって資料室には多様な図書資料を置き、地域の親子連れでも訪れやすいように読み聞かせコーナーを設置したい。これより資料室の面積も広くしたいと説明をしております。これに対して内閣府は、地域住民を取り込む必要があること、多様な図書使用及び読み聞かせコーナーを設置することについて了解していただき、実施設計にも反映しております。ただし、施設の面積増加を初めとして、建設コストの増加につながる変更については、基本的に現計画の範囲内での変更にとどめるようにとの見解を示され、町としては資料室の面積増加は難しいと判断しております。

町道整備・駐車場整備について



一般質問

真部 卓也 議員

真部議員 町道整備事業で工事が中断されている現場が見られま

町長 町道整備につきましては、現在、石川謝花線、瀬底島一周線、嘉津宇具志堅線、満名川線、健堅本部落線、伊野波本線伊野波橋の六路線の事業を進めております。健堅本部落線については、当初平成二十七年年度までに完成する予定でありましたが、国から県への補助金の予算配分が減額される中、市町村についても減額され、全体的に事業完了が遅延している状況にござい

ないため供用できておりませんが、今年度中には照明を整備し、供用開始する予定となっております。山里屋比久線についても用地交渉の難航により、一部区間が未整備の状況となっておりますが、現在も地権者への交渉は続けております。今後とも粘り強く交渉を重ね、全線開通に向けて努力してまいります。

真部議員 災害時の迂回路の役割や開発地域作りにとつても町道の全線開通は、大変重要なことだと考えますが、今後、早期全線開通するため、未整備の区間の一部路線変更や町単費でできる範囲の整備も必要であると考えますが、町はどう考えますか。

町長 用地交渉のやり方というものを再度検討し、そのあり方について真剣に考えながら、用地交渉のあり方がよりスムーズにいくような方向づけを考えたいと思っております。ご提案のありま

した迂回の話がござい

真部議員 近年レンタカーの需要増加により、町内の駐車場が不足し違法駐車により地域住民へ迷惑がかかったり、接触事故など大きな問題となっており、駐車場の整備の今後の見解を伺います。

町長 本町の主要観光地である水納島には年間六万八千人余の旅行者が訪れています。渡久地港では駐車場問題が発生しており、平成

二十八年に一括交付金を活用し、谷茶区内に新たに駐車場の整備を行い、行政区が管理を行うと、対応をしているところであり、

しかし、レンタカー需要に追いつかず、特に夏休み期間に駐車場が不足する現状にございます。今後の対応につきましては、地域住民の協力を得ながら駐車場の整備の促進を図ってまいりたいと考えております。さらに本部町

浄化センターの用地を活用し、渡久地港周辺の駐車場不足の解消を図るよう、その行政手続を進めているところでございます。当用地については、一時的な貸付の財産処分の手続を行っている最中であり、

真部議員 今後インバウンドも考えて、観光客から料金を取る有料

化の駐車場計画も必要だと思いが、駐車場の有料化についての見解を伺います。

企画政策課長 民間の活力を利用しながら、民間の空き地、その辺もできないか、民間を誘導しながら有料駐車場として整備が

重要な課題だと思っております。町が直接公営駐車場を運営するところまではまだ踏み込めないような状況にございますけれども、その手前

の力を注いでまいりたいと思っております。

1.町内における民泊について

2.旧荷捌き施設の跡地利用について



一般質問

小橋川 健 議員

小橋川議員 本町の民泊というのは、教育民泊でありまして、田舎のストロングポイントである持ち家を利用した家庭宿泊型の民泊でありまして、年間一人を超えて、経済効果の面からも将来的にも有望な成長産業であると私は捉えております。また、一般の観光とは趣を変えてホテルなどの宿泊施設に泊まるのではなく、一般家庭に泊まり、沖縄の家庭料理や地元の方たちとコミュニケーションをする体験は、他県の子どもたちにとっては大変貴重であり、すばらしい思い出になっていると私は考えております。また参加した子どもたち、引率の先生たちを通じて本町のピーアール効果というのは、決して小さくはなく、将来の、

本町への観光客の新規開拓、リピーターの創出という面からも多大な利益を生み出す可能性を秘めたすごい産業だと私は考えております。また、ただの利益という面だけではなく、町民の方たちの定年後の生きがいづくりとか、そういうものにも寄与できるすばらしい産業だと私は考えておりますので、そういった受け入れ先の創出に理解をいただくといい面からも、また行政にもサポートしていただいで、産業の成長を促進していただけるよう協力していただきたいと思っております。

町長 議員ご承知のとおり、本町における民泊事業につきましては、教育旅行民泊が中心となっており、中でも合同会社健堅が総合受入窓口としてコーディネート等を行い、現在では約九十軒の受け入れ民家登録が行われております。教育旅行民泊につきましては、民家にて民泊を行う作業体験や生活文化体験

などを行う民泊でございまして、そのニーズは年々高まっている状況にございます。しかし、一方で受け入れ民家数が不足しております。ニーズに対応できていない状況と聞いており、町といたしましても受け入れ民家数の確保に向けて支援をしていきたいと考えております。また、今までに一括交付金を利用して、平成二十四年度には旧健堅分校に、シャワー施設整備、平成二十六年度は受入民家のスキルアップ講習の実施やハーリー船二隻を購入するなど支援をしてきました。教育旅行民泊は、今後の観光振興の重要な分野であり、引き続きその支援をしてまいります。

小橋川議員 旧荷捌き施設の跡地利用について、今実際にまだ利用しているということですが、私も理解しているのですが、今現在、渡久地漁港は水納島の観光客で賑わっているのものと

よりですが、来年度には那覇本部を結ぶ高速船の就航も予定されていると聞いております。さらなる観光客の流入が渡久地港周辺地域においては見込まれると予想される中で、地元の水産物の直売所、イトイン施設など、私も個人的に都屋漁港とか糸満とか、先進地に行ってみて勉強してまいりました。本町にインバウンドのお客さんを中心にごく盛況なんです。本町にこれは本町でやらないと面白いと思っております。それで本部は絶対できるようなポテンシャルがあると思っております。ですので、今回は荷捌き施設、製氷施設の跡地は今のところすぐは利用できないと思いますが、ぜひ観光客の増加が見込まれる渡久地漁港内にそういった施設を、民間と協力してでもよろしいので、本町もつくる必要性があると考えておりますが、それに対して行政のお考えもお聞きしたいと

思います。

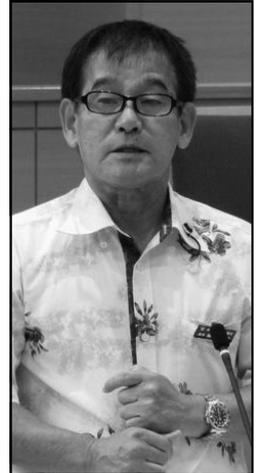
産業振興課長 平成十八年に渡久地港みなとまちづくり調査事業ということで報告書を作成しております。それを受けて本部漁協としても、その施設の活用について計画書を作成しております。その中で本施設については、いろいろな方々が流入する地域となっておりますので、向こうのほうで滞留するような仕組みづくりをしていくべきだという内容が示されております。町としても漁協と一体となり、またこの地域の谷茶行政区とか周辺にありますが、渡久地、大浜を含めて、こういった形が好ましいかということを検討していきたいと考えております。

小橋川議員 みなとまちづくり構想が町にはありますので、それのつとりながら漁協などと協力して、ぜひ頑張っていたきたいと思っております。

1. 健堅一周道路の完成はいつ頃か

2. 浜崎地区海岸保全地域の防風林の整備

3. 健堅区に第二町営団地の建設計画はないか



一般質問

崎浜 秀昭 議員

崎浜議員 健堅本部落線は完成予定から三年遅れている。その理由と今後の対応は。

町長 健堅本部落線の整備については、平成二十三年より開始し、当初計画では平成二十七年年度に完成する予定でありましたが、国から当該事業の補助金の予算配分が減額され、事業完了が遅れている現状でございます。今後の対応としては、早期の事業完了に向けて県への予算の増額を要望していきたい。

崎浜議員 現在の進捗状況は全体の何%か、それと完成予想の用途は。

建設課長 進捗状況は予算ベースで四十%でございます。工事完了の見込みですが、予算

がつけば平成三十二年に終わると思いが、はっきりと断定できない状況でございます。

崎浜議員 皆さんご存知の通り健堅の上の方は非常に見晴らしがよく、多くの人たちが家を造りたいと要望があります。健堅本部落線に健堅区の期待度は非常に高いものがあります。今、お話を聞いたところでは厳しい状況ではありますが、ぜひ当局には強い気持ちで臨んでいただいて、早めの建設ができるよう頑張っていたいただきたいと思えます。

町長 議員のおっしゃるとおり、とても風光明媚な場所でございます。そして、新しい住宅等も建っているということも承知しております。国の予算が減額されたといえども、県全体でどう配分するかは、それは県の裁量でございます。ついては私が先頭に立ってきちんとした形で文書をこ

しらえながら当道路の早期完成を目指して、予算確保に努めさせるような形での要望をやっていきたいと考えております。

崎浜議員 浜崎地区海岸保全地域の防風林が植樹されてから一度も手入れされることなく伸び放題である。区から県土木事務所に整備の要請を行うが、いまだに解決のめどが立っていない。当局から強く働きかけていただきたい。

町長 当植樹帯については、沖縄県の港湾施設であるため、沖縄県で維持管理すべきものと考えております。しかしながら、植栽や雑草が伸び放題となっており、また、防護柵が倒れている箇所も及び、安全面で問題だと思っております。沖縄県へ早急に対応するよう強く要請していきたいと思えます。

建設課長 環境に非常に問題が出ておりますので、その辺を強く県

の方に要望して、早急な対応をするよう課としても、取り組んでまいりたいと考えております。

崎浜議員 健堅区に第二町営団地の建設計画はないか。

町長 現段階におきましては、健堅区への第二町営団地の建設計画はございませんが、今後地域からの要望や、建設用地の見通し等を踏まえた上で、計画の検討を行ってまいりたいと考えております。

崎浜議員 健堅区は子どもの数が減り、分校もなくなり、また、廃屋も多くなっております。いまいち、活気がなくなっております。健堅に住みたいという人が増えてくるように、また、若い人たちが地域に戻って、安心して子育てのできる空間を確保できる希望も大切かと思えます。また、子どもたちの明るい声を聞くということも、区の発展繁栄に繋がっていくと思えます。今の

現状、閉塞感を打開するために、ぜひ第二団地の建設を検討していただきたい。

建設課長 健堅区におきましては、町営住宅の要望が非常に強いということを含め、改めて課としても受け止めております。その選定する考え方としては、一番は用地の確保が重要になってくると思っております。地域からの要望という場合にも、例えば町有地があるとか、近くにすぐ道路が走っていると、建築確認の問題がないとか、そういうところが整っているかというところから、私たちも見えていきますので、しっかりと地域と話し合って、計画に乗せられるようにやっていきたいと思っております。

崎浜議員 ぜひ健堅区第二町営団地が建設できますように、区を挙げて要請してまいりたいと思えます。

1. 満名川氾濫の解決策は
2. 辺名地・谷茶線、辺名地・渡久地線と谷茶大通りの木の伐採
3. 中央公民館建替えの説明会の意義とは
4. 防災無線の音響調整は可能か



具志堅議員 満名川氾濫の解決策は。
町長 満名川からの逆流防止のためのフラップゲートを設けてありますが、完全にシャットアウトする事はできません。当満名川については、県の管理下にあるため、今後、老朽化のフラップゲートの改修や未設置の箇所へ設置する等、県へ強く要望していきたいと考えております。
具志堅議員 台風接近に伴い大雨、高潮等が重なった場合に渡久地海洋橋通りやそこから東側に二本目の道、それから本部中学校校門の東側五十メートルの所、冠水により人や車が通れない状況であります。特にこの三ヶ所



渡久地及び満名川周辺

のかさ上げ舗装についてお伺いします。
建設課長 冠水を防ぐために道路を十センチとか十五センチかさ上げする対策を現地調査をして検討してまいりますと思います。
具志堅議員 辺名地谷茶線、辺名地渡久地線と谷茶大通りの木の伐採について。

町長 当該道路は、国道四四九号と渡久地市街地を結ぶ住民の生活道路となっており、また本町の経済活動を支える重要な道路でもあります。道路の管理といたしましては、歩道の草刈りなどの実施や台風時における倒木処理等、適宜対応しております。ご質問にありますが、道路沿いの木の伐採についてであります。民有地に樹木が生えている事から、本町の道路管理外となっております。しかしながら、利用者が不便を来していることや、倒木のおそれがある現状を見ると放置する事ができないため今後は土地所有者と伐採について協議を進めながら対応を検討してまいります。と考えております。
具志堅議員 中央公民館建替えの説明会の意義とは。
教育長 沖縄北部連携促進特別振興事業は、

補助事業の趣旨に合う事業の提案や事業計画が求められます。よって部屋ごとの用途や機能、規模算定の根拠やその必要性について詳細な説明が求められ、内閣府の指摘に応じて修正していく必要があります。よって、あらかじめ事業採択される事が決まっているものではない事前の計画案の公表には馴染まず、又そのいとまもなかったという事についてご理解を頂きたいと思っております。内閣府との協議では、施設の面積増加を初めとして、建設コストの増加につながる変更については、基本的に現計画の範囲以内での変更に留めるようにとの見解を示されておりますが、住民説明会で伺った意見等については、可能な限り実施設計に盛り込んでいく方向性としております。
具志堅議員 防災無線

の音響調整は可能か。
総務課長 当初、防災無線を配備する際に、二百個のスピーカーを設置しております。その二百個を整備する中では無風の状態で効率よく聞こえるにはどういった配置がいいかという事で、今の配置に至っております。その配置に至った後で、住民から音が大きい、あるいは聞こえづらいつと、二重、三重に聞こえるという事も色々お問い合わせがありまして、その都度、対応しております。住民、そして区長が立会いまして、微調整を常に行っている段階であります。その微調整を行って、再度聞こえないとか、風向きが原因であったということもありませんので、状況によっては二、三度行く事もございます。その都度、現場で微調整している状況でございます。

学校施設の安全性の確保について



一般質問

喜納 政樹 議員

喜納議員 一、沖縄県教育委員会が行った公立学校におけるブロック塀設置状況調査の結果、本町においても建築基準法に適合しない

と考えられる塀が、どの程度あるのか、また、劣化が見られる塀が、どの程度あるのかを伺います。二、本町における今後の対応について伺います。

教育長 ブロック塀設置状況調査の結果について、本町の学校が保有するブロック塀の総延長は二千七百八十七メートル、塀の設置数は三十五箇所であり、そのうち建築基準法に適合しないと考えられる塀は百七十二メートル、劣化が見られる塀は二十五箇所です。今後の対応については、平成三十一年度以降に専門

業者による構造調査を行い、構造的欠陥があり、かつ緊急度の高い箇所から順次改修を行う考えであります。また改修までの間、児童生徒に対しては危険性のあるブロック塀に近寄らない等の注意喚起をしていきたいと考えております。

喜納議員 建築基準法に適合しないと考えられる塀がある学校が何校で、劣化が見られる塀がある学校が何校あったのか。学校数で説明してください。

教育委員会事務局長 建築基準法に適合しないと考えられる塀として三校が高さ的に基準を満たしていないところがあります。劣化が見られる塀は全ての学校の塀に亀裂が生じていますので、全ての学校に見られます。

喜納議員 説明があった通り全ての学校の、いわゆるスクールゾーンもしくは学校施設に隣接する塀に劣化が見られると。劣化があるからといって、すぐに

危険性がある塀というわけではございませんが、しかし、子ども達の安心・安全を考えた時に学校の施設に、こういった劣化が見られる、そして建築基準法に適合しないと考えられる塀があるというの

は問題ではないかと考えます。先ほど教育長からも答弁がありましたが、平成三十一年度以降に専門業者による構造調査を行うという事でございましたが、優先度を選定しながら補正予算で調査費を組

んだ方がいんじゃないかと私は考えているんですが、そこら辺は、どのようにお考えですか。

教育委員会事務局長 調査を行いました。八月には公表となっております。確かに危険性のあるブロック塀という結果が出ておりますので、教育委員会としても、それに掛かる調査費用を早めに把握して、あとは施設、日常的に管理している学校側からの常日頃の情報

提供や、あとは委員会として見回りを継続していきたいながら、補正予算も視野に入れながら早めに検討し対応して行きたいと考えております。

喜納議員 教育委員会としては、やはり、そういったものを優先して補正予算を組んで頂きたいと思えます。あとは、財政当局との予算調整になると思うんですが、町長、この問題に関して、どうお考えですか。

町長 調査結果等については報告を受けております。報告によって危険度が、とても高いなという箇所もありますので、その箇所については予算組みをしながら早急な対応が必要かなと思っております。

喜納議員 この問題に関して、私も新聞報道等にて認知しておりますが、本部小学校校区の、ある書記さんから、「区民の方が本部小学校の裏の塀の劣化が、かなり激し

い、そこを歩くことから、ちょっと怖いという問題があります」と私の方に連絡がありました。先ほど建築基準法に適合しないと考えられる塀の中に本部小学校が入っていないかつたのですが、あれは建築基準法を満たしているんですか。裏の塀は、説明を求めます。

教育委員会事務局長 この調査結果の調査範囲として、建築基準法に適合しないという調査内容からの調査結果となっております。現地としては、実際、城壁の上にブロック塀があるという事であり、ですので、教育委員会としても認知しております。調査結果、調査を行う項目で今回は報告が出ておりますので、

そこら辺の危険性のある塀は各学校にまだまだありましたので、それは実際のところ把握しております。ですので、その調査を早急に入れて整備を検討していきますと考えております。

本部町立図書館について



一般質問

具志堅 正英 議員

具志堅議員 本部町立図書館の利用状況について

教育長 平成二十九年度の利用状況は、幼児千四百五十六人、小学生、二千九百十三人、中学生千四百九十四人、高校生三百八十一人、一般七千四百三十九人、合計一万三千六百八十三人となります。登録者数は二千五百八十七人です。貸し出し数は、一万四千七百三十六冊です。蔵書数は、四万三千九百四十一冊です。今後の蔵書計画については、古い図書や余り利用されていない図書はリサイクル本とし、または処分していく。既存図書の整理と平行して必要な図書の購入を実施します。利用者からの要望については、図書館内にリ

クエストカードを設置し、読みたい本をリクエストしていただいております。図書館協議会については、教育委員会規則である本部町図書館協議会規則に定められており、協議会は、本部町立図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関との位置づけとなっております。

具志堅議員 図書館が蔵書を減らすことはその機能の低下になると思います。教育長はどういうふうにご考えておられますか。

教育長 蔵書が減ったとしても、図書館としての機能は十分發揮してもらえらると思っております。

具志堅議員 この図書館の蔵書の管理が全くなされていまいように感じます。四万三千九百四十一冊のうちどこに何冊あるのかも把握していない

状況だと思いたすけれども、これはいかがですか。

教育長 私たち教育委員会が図書館を管理している以上、図書館で幾ら一般供覧に供しているか、そこに入れな分がどこに保管しているのか、そういったちゃんとした調査といえますか、それができていないということは大変申しわけなく思っております。

町長 図書館の機能というのはその数のみじゃなく、本当にこの町の地域住民のニーズに合った蔵書の形になっているのかどうか、今後はそういったものまで含めながら、より多くの住民が、図書館のほうに足を運ぶような、運べるような形をお互いに知恵を集めて、そしてお互いに協力し合いながらやり抜くというのが行政と、そして議員も含めて、それがお互いの基本的なスタンスであらねばならないと考えま

す。一つは寂しいことに、小学生、中学生、高校生のこの数値を見たときに、高校生は三百八十一名、とても少ないなと思っております。そういった数なども含めて子どもたちが本当に足を運びやすいような、親しみやすいような形をいかに形づくるとかということであつて、決してその数だけのことで全体を評価すべきではないというようにも思っています。前向きに、そしてポジティブに物事を捉えながら、よりすばらしい図書館機能をつくり上げましょう。

具志堅議員 全く町長のおっしゃるとおりでありますけれども、この図書館の蔵書の管理状態を見ると町民の皆さんは危惧しているわけなんです。この図書館の本も町の財産でありますので、その辺よく考えてやっていただきたいと思います。では、次に図書館協議員は何名ですか。

教育委員会事務局長 図書館協議会の協議委員は五名となっております。具志堅議員 各地区の公民館や小学校で読み聞かせ会を開いたり、いろいろな活動をしておりますけれども、その読み聞かせのスタッフは全てボランティアの方と聞いておりますが、それでよろしいでしょうか。

教育委員会事務局長 ボランティアとなっております。

具志堅議員 このように図書館のいろいろな活動は町内のボランティアによって活動が支えられております。ですからそういう方たちの図書館に寄せる思いは非常に大きいものがあります。そういう方たちが図書館を利用して、いろいろなお話会の資料を作成したり、情報を収集したりする場が図書館でありますので、ぜひこれ以上機能を落とさないようによろしくお願いいたします。

具志堅議員 全く町長のおっしゃるとおりでありますけれども、この図書館の蔵書の管理状態を見ると町民の皆さんは危惧しているわけなんです。この図書館の本も町の財産でありますので、その辺よく考えてやっていただきたいと思います。では、次に図書館協議員は何名ですか。

1. 日本一心豊かな我が町づくりについて

2. 農業用水について

3. カツオ漁について



一般質問
伊良波 勤 議員

伊良波議員 日本一心豊かな我が町づくりについて。広く町民に対し改めて知っていただくことが必要だと考えます。日本一心豊かな我が町づくりとは、**町長** 日本一心豊かな我が町づくりについて、所信で述べましたとおり、まちづくりの基本としての融和・協調・個性を大切に、町民生活の豊かさを第一に据えて「日本一心豊かな我が町づくり」を政治テーマといたしておられます。日本一心豊かな我が町づくりとは、本町に住む人々が個性をお互いに認め合って、協調・融和していき、人と人とのつながりを大切にする地域力、また本町の自然環境や伝統文化を愛する心、明るく、前向きに、たくましく生きよ

うとする心を日本一レベルまで押し上げていくことだと考えております。日本一心豊かな我が町づくりを実現していくためには、所信で述べました六本の柱の施策を強力に推進していくこととしております。私が掲げた政治テーマを町内各種団体を始め、全町民の共通のテーマとして、その方向づけをしていければと考えております。そしてそのためには役場職員が先頭となり、そして議会議員各位の皆様方、町内各団体と連携をしながら、本町を愛する心、明るく、前向きに、たくましく、生き生きと人生を心豊かに過ごしていけるようなまちづくりに取り組んでまいります。と考

える水よりも、残念ながら海に流されている状況というのは非常にもったいないなと思っています。それを一人でも多くの農家に利用していただけたらありがたいんじゃないかと思えます。農家が具志堅の豊富な水を利用できる方法がないか、ともに一緒に考えたいと思いますけれども、いかがですか、町長。

町長 技術的な部分と財政的な部分を含めて、どのような形で効率よくそれが対応できるのか、土木の専門家のコンサルなどの意見力をかりながら、そういった知恵もかりながら検討していくって、何らかの形でより多くの農家の方々にこの豊富な具志堅の水を分け与えるというようなことができればと思っております。今後いろいろなアイデア、知恵が必要になりますので、ぜひ伊良波議員のサイドからも情報を集めて、提供いただければありがたい存じます。

伊良波議員 カツオ漁について。カツオ漁をしている人たちへの行政からの支援について。**町長** 本町のカツオ漁は、大正期の最盛期には四十隻余りのカツオ漁船が操業していましたが、その後減少し、平成二十二年に唯一の大型カツオ専用漁船第十一徳用丸が引退し、現在は五トン未満の小型漁船八隻のみが操業している状況でございます。そのような中、現在、水産業における行政支援といたしましては、カツオ産地活性化補助金やモズク養殖網の購入補助金、オニヒトデ駆除補助金、その他一括交付金を活用したパヤオの設置などを行ってきております。カツオ漁を続けていける漁民個人への支援等は、現在行っておりません。また、水産業における国の補助制度等も少ない現状でございます。カツオ漁の再生については重要な課題と考えております。

す。今、どのような支援が必要か、これから真剣に検討しながらこの支援の対応策について打ち出していきたいと考えております。

伊良波議員 今回、新規でカツオ漁をして、またこの本部に、いつ来てもカツオがあり、カツオの味噌あえがあつて、多方面からもあるいは観光客にもおいしく提供できたら、先ほど町長がおっしゃった活性化、やはりこれで生活をしていかなんといけないと思いたつたので、そういうのにつなげていければ、その方を見習って、また若い世代の人たちが新たにやってみたいなという気持ちにもなると思うんですね。そういった意味でもどうやって、今後、我々が支援できるかというところを、またともに一緒に議論して本部が元気になるような、そういう仕組みづくりができればと思っております。

沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会

平成30年10月12日、沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会が糸満市にて行われました。

研修会では、山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長の江藤俊昭氏の『住民自治を進める議会の条件整備議員報酬・定数』の講演及び、全国町村議会議員互助会事務局長の廣瀬始氏の『議員の公務災害と全国町村議会議員団体補償制度について』の講演が行われました。



沖縄県町村議会常任委員長・副委員長実務研修会

平成30年11月6日、沖縄県町村議会常任委員長・副委員長実務研修会が那覇市にて行われました。

研修会では、沖縄県町村議会議長会事務局長の石垣安秀氏の『常任委員会の役割と運営について』の研修が行われ、本町からも4委員会の委員長・副委員長が参加しました。



編集後記

今年の夏は、台風二十四号、二十五号の影響で本町は甚大な被害を受け、災害復旧費等として千六百万円の支出を行っております。早急に対応された、町当局をはじめ、建設業者会及び関係各位に感謝申し上げます。

さて、九月に新町長の平良武康氏が就任し、今定例会において「日本一心豊かな我が町づくり」を指していくと決意表明をされました。時を同じく高良文雄前町長が勇退されました事に對し、十二年間の功績に敬意を表すると共に、これからお体に留意され、益々活躍される事を心より祈念申し上げます。

議会広報委員

具志堅 勉

もとぶ議会だより

ハイサイ 第116号

発行 本部町議会

編集 本部町議会広報

調査特別委員会